

『 わたくし大黒摩季は、HOME 札幌市を絶大に応援します！ 』

札幌市民の皆様＆北海道民の皆様☆、コロナ禍によりご無沙汰しておりました
南区石山出身、大黒摩季です！

いきなり出てきて恐縮ではあります…。

急ぎ、多くの道産子の皆様にお伝えしたいことがあり、ここにメッセージを書かせていただきます！

只今、北京オリンピック・パラリンピックが絶賛開催中でもありますし、2030年冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致にあたり、賛否が分かれていることはネット情報などで周知のことではありますが、3月上旬より3月中旬まで行われます住民アンケート、その如何で札幌が招致活動を前に進めていくか否かの大事な調査ということらしいのです。

それを道産子の親友から聞いて、同級生などにも聞いてまわったら殆どが「え？！そういうことだったの？！そんな早くに調査されるの？！」
ということで、そもそもよくわからない・知らないものを答えようもないと焦り、これはひとまず伝えねば！！！と余計なお世話ながら一念発起した次第です。

勿論、異常なる降雪やオミクロン株の猛威による蔓延防止等重点措置が適用中でもあり今の今も、北京オリンピック・パラリンピックにて我が北海道選手をはじめ日本人アスリート達が熾烈な戦いを繰り広げ、「それどころじゃないわよ！」というお気持ちを察しますが、如何せん今ここでアンケート結果をIOCが重視することは確実で、そこでよもや反対派が多勢となった場合はそもそも招

致のスタートラインに立てなくなるということ。

つまり受験の願書を出さないと本番受験はできないの～(涙)ということと同じ、後になってやっぱりオリンピック・パラリンピックをやってもいいよね☆と思っても、そこから動き出せばまたその先 8 年～10 数年先の参加チケットとなるわけです (汗)。

勿論、反対派の皆様のご意見をしっかり受け止め、改善できるものは市政や各種企業・産業・各媒体が丁寧にやっていただきたいとも思いますし、無闇に盛り上げて賛成票をかき集めるために動くのではありません。

ただ 8 年後という近未来に、札幌市が、北海道全体が一気に飛躍できるかも知れないチャンスの一つとして、その選択肢の一つとしてオリンピックもあるわけで、ここでうっかり人ごとの流して、もしやラインナップから外されたら、この先コロナが鎮まり、経済が回復＆再生してきた時にやっぱりやってもいいかもね、と思っても選択肢はないということです。

まずことの流れと真意を理解して、市民の意思として未来に希望を持てるのならば、急ぎ、チケットは押さえておきませんか？

ということをお伝えしたかったのです！

私は道産子気質の、「 ひとまず春になってからやろう 」的な、
「 今立ち止まって悩みにくれるより、先に行ってから考えよう 」
危険に無謀に飛び込むよりも「 風が止んだら船を出そう 」そういう
ポジティブな開き直りが好きです。

現時点で難題は山積していたとしても参加券さえあれば、その先に改善する時間も議論の場も生まれます。それでも尚やるべきでなければ、そこで辞退するのもいい。でも希望の光を信じる人たちの思いをスタートする前に摘み取ることが最善だとは思えません。賛成派も反対派も決めきれていない派もみんなが理解の上で意見を戦わせるのがフェアであり、意思の強い反対派だけが訴え、奥手な賛成派および決めきれない派が何も意見せず不安のなかで不参加では、札幌市民の声とは言えないと思ったのです。

なので、まずは札幌市、秋元市長にことの流れ、想い、理想、覚悟や政策などをしっかりと語っていただき、その声が届かない場所に大黒が今、札幌市民＆北海道民の皆様に、急ぎ案件！！であることをお伝えできればと思いました。

はっきり言って、私はオリンピックが大好きです ❤

アテネと北京オリンピック 2大会を現地で体感し、紛争地域ひいては戦争中の国同士が礼儀を持ってフェアに戦い、最後は握手をしハグをして終える、あの本物の愛と平和の理念。そしてその前に訪れた時は、殺伐として同民族での争いも起こっていた国・街が一つになり、海外からの選手団をはじめお客様に尽くし、文化や価値観の違いを理解し合おうと努める。

アスリートの方々がその姿で魅せてくれる人間が持つポテンシャル、勇気や情熱、希望、諦めずにやり抜くことの素晴らしいなど、それがどれほど未来を担う子供達や街に情操的な成長を促すものか。

ネット社会のせいで上部の団結＝コアはバラバラな街や人間関係も、オリンピックという一つの目標を達成するために物理的に一つとならねばならない、それが

故にいつしか絆が生まれ、その後の街の発展に団結力と一体感が生まれ総合的にエネルギッシュで革新的な発想と結果へと転換する。

パラリンピックをやることによりバリアフリーをはじめ様々な環境開発・意識改革へのリテラシーが高まり、それにより障害を持つ方々に発言権的な主権も生まれ、パラリンピック後には便利で理解ある社会が持続する。

多様性も然り、差別や区別のほとんどは知らぬことからくる恐怖と不安への自己防衛だと私は痛感しています。みんなで知れば、みんなで知恵を出し合えば不可能は可能に転化して行きます。

ワクワクしませんか？！☆

愛する故郷が活性化し、さらに美しく住みよく便利になり、日本一、いえ世界に誇れる素晴らしい場所になるのを自分が元気なうちに体感したくはないですか？

何もせずに夢も理想も叶いませんが、一つずつ一步ずつ進み進化し続ければ、満額叶わざともおおよそ理想に近づけると思いませんか？

私は自分が生きている間に再度、自国開催、しかも故郷の札幌でオリンピックやパラリンピックがあるなんて想像しただけで、大興奮です！！！

今回の北京オリンピック・パラリンピックで苦渋を飲んだ北海道出身選手の皆様方にも、ホームの応援がどれほどミラクルを生むかを体感し、雪辱を果たし高い理想を超えて欲しい、きっとできる！☆

経済問題や様々な問題もそれらを顧みれば、将来的には相殺できるのではないの
でしょうか。むしろ素晴らしいこと、特に「人間として大切なものの」を短期
間で感じ、その後の札幌市・北海道ひいては日本人の人生を輝かしく変えてくれ
る可能性の方が大きいと思っています。

ですから私は、はっきり言ってオリンピック・パラリンピックは
絶対やった方がいいと思います！☆

札幌市民＆北海道民の皆様に是非！ひとときでいいので、自分の街の未来のこと
として真摯に耳を傾け、ご意見を伝えていただきたいのです！！！

札幌市長も北海道知事も、市民・道民の代表だと思いますから、自分の故郷、自
分の街の未来は自分達みんなで決めて欲しいと思います。

HOME 北海道＆札幌の元気と笑顔、輝かしい未来を切に願う道産子の一人
として、どうかこのでしゃばりをお許しください。

余談ですが、8年後の2030年は大黒摩季、還暦です☆
赤いちゃんちゃんこより、オリンピック・パラリンピックの眩い光を浴びれたら
人生思い残すことはありません。

2022年2月16日

大黒摩季